

ソードアート・オンライン オルタナティブ
ガンゲイル・オンライン

彼女の ステッ ステッ プ。

著 時雨沢恵一

SWORD ART ONLINE ALTERNATIVE
"GUN GALE ONLINE"

ELZA Short story "Her step, step"
Keiichi Sigsawa

「彼女のステップ・ステップ」

2026年8月29日・土曜日

小比類巻香蓮が西山田炎に盛大にフラれ、カラオケボックスで喉が千切れんばかりに神崎エルザの歌を連続で歌いまくったあとのこと。

「ふはひい……」

「無茶しすぎだぞコヒ。でも……、オマエ……、スケエ格好良かったぜ？ 惚れ直したぜ。スッキリしたか？ 吹っ切れたか？」

「ぬはふう……」

「おう、そうか。よくやった。よし、飲め飲め！」

横に長い部屋の一番端には、疲労困憊でソファで反り返って座る香蓮がいました。隣には、親友の額に冷たいおしぼりを載せて、口にアイスティのストローを連んでいる美優がいました。

そして、美優の脇、部屋のほぼ中央に、大きめの帽子をかぶった神崎エルザと、スーツ姿の阿僧祇豪志が座っていて――、

「え、エルザさん！ わ、私達から、し、質問いいでしょうか！」

「いいでしょうか！」「お願いします！」「どうか！」「ぜひ！」「ブリーズ！」

さらに向こうには、つまり部屋のもう一つの端には、元氣よく手を挙げている、女子高生達が座っているのです。

ご存じ、香蓮の通う女子大の、附属高校新体操部の六人です。チーム仲を高めるために全員で強くて怖そうなアバターを揃えてGGOを楽しみ、SJではSHINNCの名称で知られているアマゾネスチーム。

彼女達六人は、美優に呼び出されて来たカラオケボックスで、驚愕の事実を知っていました。

GGOで暴れまくっている、破壊と殺戮女ヒトフィの正体が――、

SJ2で、ギャラが死んだら自殺、というリアル命がけブレイ縛りという変態的所業に及んだ人が――、全員揃って大ファンである、今の日本で、一、二を争う人気女性シンガーソングライター、神崎エルザその人だと。

さっきまでずっと香蓮の熱唱にコーラスを入れていた六人ですが、それが終われば憧れの歌手にいろ

いる聞きたいのは当然です。元気など、まだ売るほど余っています。なにせ若いですから。

エルザは、愛用のギターをソフトケースにしまっているところでした。

「オッケーオッケー！ こうしてリアルでも知り合ったのも何かの縁！ へてて親しい人しか知らないことを特別に教えるじゃないしょう！ ただ、ネットにアップとかはナシね。みんなの胸にしまっておいてね！」

そつ氣さくに答えてから、ギターケースを豪志に持たせて、好物のブラックコーヒーを喉に流し込みました。ちなみにアイスです。

その隣にいる豪志は、ギターケースをしつかりと保持しながら、何も言わずに黙っていました。それから片手を伸ばし、同じように砂糖もミルクも入っていないコーヒを口に運んで――、むがっ。

荒れる胃を軽く押さえました。

そんな豪志など、間に存在していないかのように、

「もちろんです！ しまっておきます！ 私達の小さな胸に！」

GGOOではエヴァ、あるいは仲間達からボスと呼ばれている女子高生、新渡戸咲が目輝かせながら叫びます。

「ここで聞いたことは死ぬまで墓場へ持って行きます！ 誓って誓いを守ります！ 破ったら殺していいです！ イッツ、女の約束です！ ——みんな、聞いたか？」

「はい！」「ウラァ！」「イエス！」「了解です！」「ガッテン！」

「うむ、いい答えだ。お主らを信じよう。なんでも訊くがよい」

テレビ番組などでお淑やかに振る舞うエルザの口調ではなく、まるでピトフーイのように答えるエルザでしたが、六人は違和感を持たずに目を輝かせました。最早そんなことは些末事。どっちでもいいようです。

「じゃ、じゃあ――、神崎エルザさん！ 憎悪ながら部長である私、新渡戸咲が、代表して質問させていただきます！ 私達が、いえ、世界が知りたいがっていることをお聞かせください！」

咲が、背筋をピツと伸ばして、豪志を挟んでエルザと向き合いました。

新体操部の中では一番背の小さな咲ですが、エルザはそれ以上に小柄です。しかし、美しい顔を不敵に微笑ませているエルザと、お下げを真っ直ぐに垂らして緊張気味の咲は好対照でした。

残りの五人も、王様の謁見に臨む騎士達のような顔でエルザを見据えていました。

「うーん、主語でかい！ いいわよ、インタビュアーさん。なんでも聞いて答えられることならなんでも答えてあげる。つまり、答えられないことは、何も答えない」